

特殊金属エクセル

チタン板の精密冷延体制確立

最薄10マイクロ、電子機器部品向けなど

特殊金属エクセル
(本社・東京都豊島区、
社長COO・水谷徳次
郎氏)は、埼玉事業所
(埼玉県比企郡ときが

わ町)において、純チ
タンとβチタン合金の
冷間圧延体制を確立し
た。高板厚精度で最薄
10マイクロ(0.01ミリ)まで
がメインで、来年から

わ町)において、純チ
タンとβチタン合金の
冷間圧延体制を確立し
た。高板厚精度で最薄
10マイクロ(0.01ミリ)まで
がメインで、来年から
のチタン薄板・箔の製
造を実現させて今年か
ら市場への提供を始め
ている。今年は試作材
がメインで、来年から
のチタン分野に応
用。2023年に稼働
開始した自社設計の高
性能冷間圧延機も活用
し、電子機器部品用途
を皮切りに市場への提
供を始めている。主な
板厚は30~100μ
。製造実績を積み上
げる中で新たな課題を
確認・解決し、技術と
品質の向上を図りなが
ら、機械的特性のカス
タム設計により用途や
顧客ニーズに対応して
いる。

今後は電子機器部
品、車載関連部品、医
療機器(インプラント
・外科用部品)、ス po
ーツ用品(自転車・釣
り具・ゴルフ用品など)
をはじめとする分野へ
の展開を推進する。

複数アイテムで量産化
採用を計画している。
同社は、ステンレス
箔で長年培ってきた高
度な技術を軽量かつ高
強度のチタン分野に応
用。2023年に稼働
開始した自社設計の高
性能冷間圧延機も活用
し、電子機器部品用途
を皮切りに市場への提
供を始めている。主な
板厚は30~100μ
。製造実績を積み上
げる中で新たな課題を
確認・解決し、技術と
品質の向上を図りなが
ら、機械的特性のカス
タム設計により用途や
顧客ニーズに対応して
いる。